

# 蘇南中だより



自己を生かす生徒  
助け合い励まし合う  
知恵を働かす  
たくましくやりぬく  
令和7年10月1日発行

## 蘇南中学校が誇る学びの土台

学力向上推進委員長  
渡邊 悠斗

今年度の4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。本校の生徒は基礎学力において引き続き取り組むべき課題がある一方で、下の表から分かるように学力向上の土台となる「仲間と協力して、主体的に問題解決に取り組もうとする姿勢」において全国や岐阜県の平均を上回る、優れた長所をもっていることが明らかになりました。

### <各質問に対して【当てはまる】と回答した生徒の割合>

質問	本校	岐阜県	全国
授業や学校生活で、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。	54.6%	53.2%	45.5%
学級活動での話し合いを通じて、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。	47.0%	41.7%	32.6%
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。	31.0%	31.6%	23.4%
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり生かしたりすることができる。	27.0%	25.3%	23.5%

先日、私が担当する2年生の学級では、10月3日（金）の授業参観に向けて、学級の姿を高めるための取り組みを決めるための学級活動が行われました。学習長が中心になって、自分の学級の目指す授業の姿を再確認し、そこに近づくために必要なことや、学級の現状を仲間と話し合っ共有しました。その中で出た課題点をもとに、学級としてさらに高めたいことを授業参観に向けて取り組む内容として決めました。もちろん2年生だけでなく、全校でこのような学級活動が行われています。このような主体的かつ協働的な活動や授業が日常的に行われているからこそ、先述の結果が長所として表れていると思います。

前期のしめくくりが始まっています。学級活動の後、学習長が取り組み表を作成し、担任の先生に拡大してもらったものを学級に掲示していました。そこには評価だけでなく、仲間との関わりを通して成長した姿や、頑張っている仲間の姿が記入されていました。立場や得意・不得意が違って、目標に向かって頑張っていることを認めてもらえる、つまり安心して学びに向かえる環境や仲間関係の確かな土台が蘇南中学校にはあります。

しかし、一人一人の生徒に「力をつける」という点では課題もあります。ある学級では、「切りかえ」を取り組みのテーマに設定しました。黒板に書かれた「切りかえ」を頑張ると言うことができても、切りかえに取り組む価値とは何か、切りかえるために何を頑張るのかを自分の言葉で表現できる生徒は決して多くはありません。授業でも同様に、教科書や黒板に書かれた一般的な概念を理解できても、具体的な例を挙げるなど、自分の言葉にして表現することに弱さが見られます。今後は、学級活動や授業の中で生徒が自分の言葉でアウトプットすることを通して、理解を深め、確かな力にしていけるよう、指導を工夫していきたいと考えています。